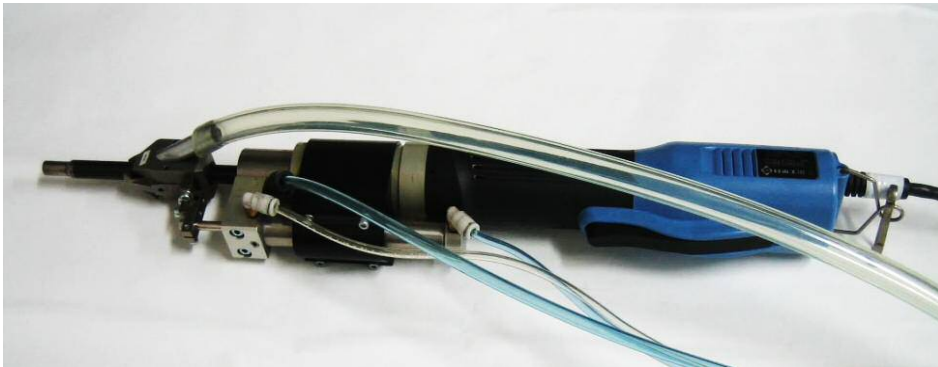


FUJITEC

取扱説明書

'吸着式ハンディ'工具部

Model DLV30

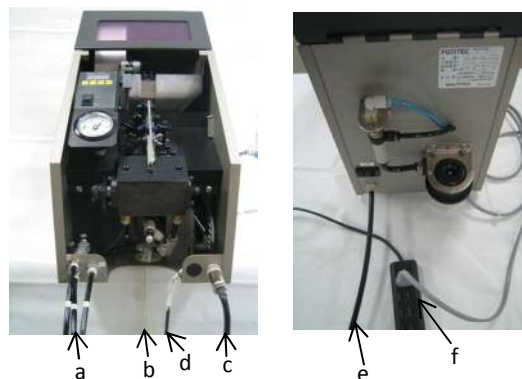


接続

1. 供給部本体と工具部との接続

1) 供給部への接続

- a 工具部からのエアチューブ3本の接続
- b 工具部へのネジ送りホースの接続
- c ドライバーからの7Pコネクタの接続
- d ドライバーからの2Pコネクタの接続
- e エアの供給、ウランチューブφ8 0.4MPa以上
- f 電源供給 日本国内-AC100V

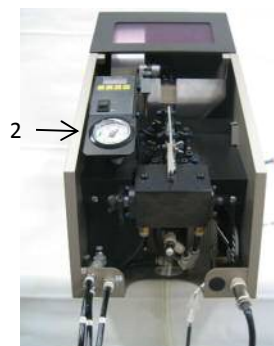


2) 工具部への接続

- a 供給部からのエアチューブ3本の接続
- b 供給部からのネジ送りホースの接続



2. 供給部全面パネルのエア圧力ゲージを、約0.2~0.3MPaに設定して下さい。
レギュレーターは供給部正面向かって右側の窓を開けて下さい。
3点セットのレギュレーターにて調整します。



3. ねじ送りホースはYパイプが上下する動きに余裕を持たせて下さい。 <例>



ねじ送りホース、エアチューブ3本、信号線1本
動力線1本が余裕をもって動くことが出来る様に
バランスを使用して下さい。

バランス

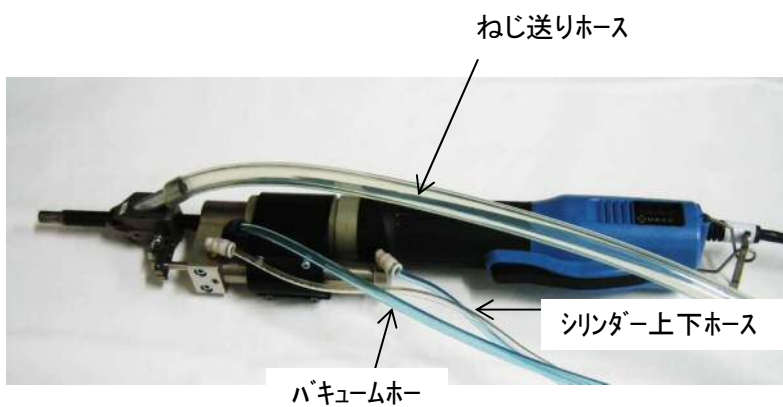


接続

レバースタートとプッシュスタートとネジ締めスタートに2種類の方式があります。
レバースタートはレバーを握るとドライバーが回転しトルクUPをすると止まります。
レバーを離すと、Yパイプが下降してねじを圧送し、すぐにYパイプは上昇して待機位置に戻ります。
レバーを離してYパイプが下降し始める時間、下降して圧送している時間、圧送し終わってYパイプが上昇する時間は個別に供給部全面パネルで設定出来ます。
プッシュスタートはレバーの替わりになるセンサーがドライバー内にあり、ビットに負荷がかかるとドライバーが回転し、トルクUPをすると止まりドライバーを上にあげ、ビットに負荷がなくなるとYパイプが下降します。
以下はレバースタートと同じ動きです。

ビット・吸着パイプの外し方

- ①接続されているホースを外す(ねじ送りホース、バキュームホース、シリンダー上下ホース)



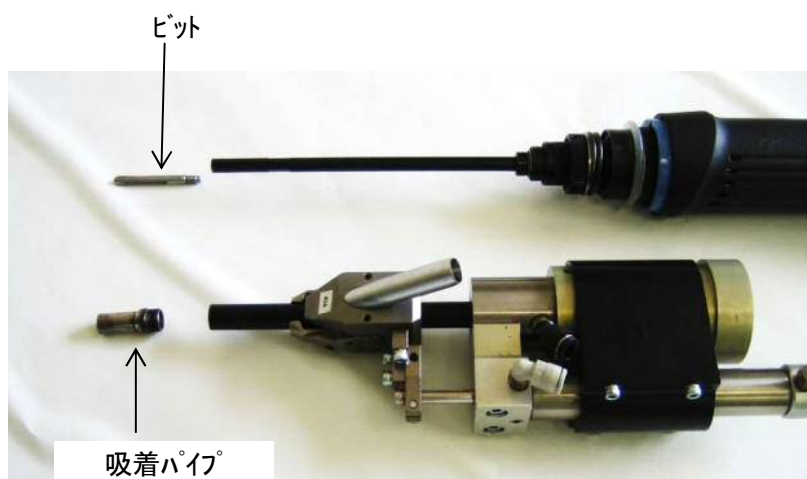
- ②接続されているホースを外した状態から矢印の部分よりドライバー部と先端工具部とを逆ねじで分離します。



- ③分離した状態より、矢印部右側ビットホルダーの2面取りした平面部をモンキー等で挟み左側ビットを反時計方向に外します。



④吸着パイプは①の状態でも外せます。時計方向(逆ねじ)で外します。



吸着式ハンディの御使用にあたって必ずお読みください。

1. 供給部本体内部の3つのセットフィルター内に水、油が溜まるような工場配管の場合水、油を除去できるフィルターをかえして供給部及び吸着ドライバーへ水、油が行かないようにして下さい。機械動作に影響を与え、ねじ落下の原因となります。

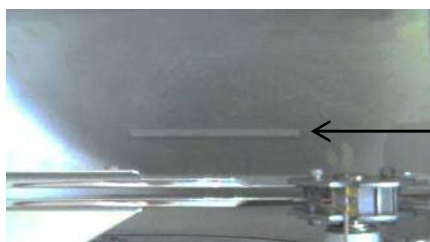
<供給部本体内部>



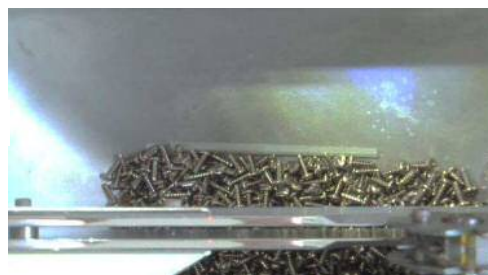
3点セット

2. 供給部ホッパーへのねじ投入量は写真の適量線迄にして下さい。オーバー量を投入するとねじ送りが不安定になります。

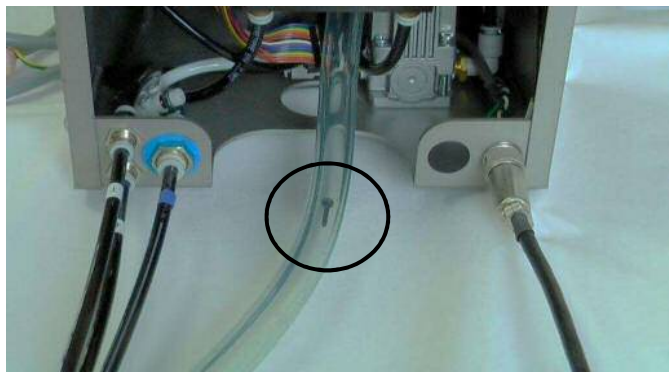
<ねじ投入例>



適量線



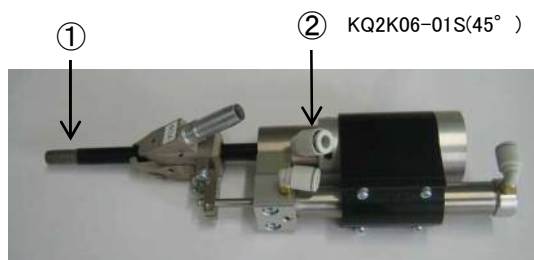
3. ねじは常時ホース内は1ヶです。ホース内の1ヶが圧送されてYパイプの先端にきます。2ヶ以上あるとYパイプの詰まりと機械を損傷する原因となります。



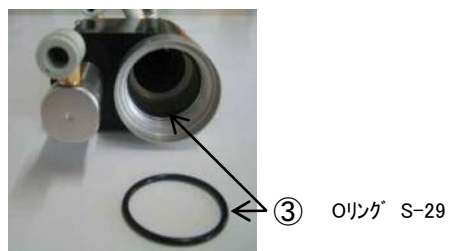
<日常点検>

1. 工具部(ドライバー)

- ①吸着パイプ内のブッシュのつまり
- ②ワンタッチツギテのつまり



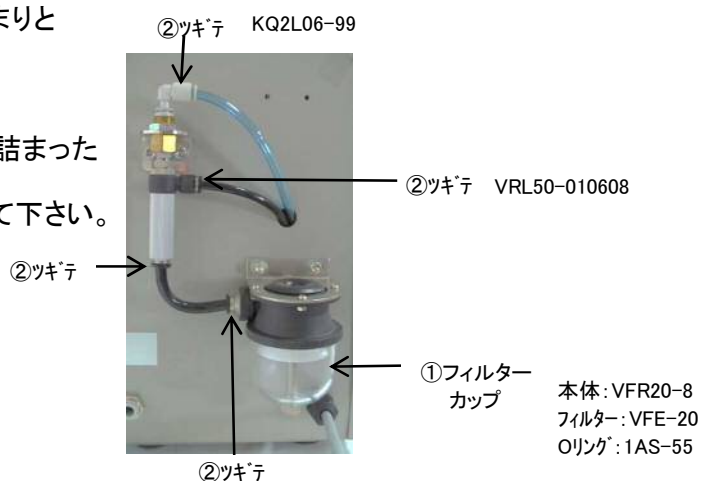
- ③Oリングの変形、損傷
(トルク調整等、ドライバーと
先端部を分離した時に
確認下さい)



2. 供給部

- ①フィルターカップのフィルターつまりと
カップのゴミの量

- ②ツギテのチューブ差し込み部に詰まった
ゴミを除去。
チューブを外してエアブローをして下さい。



品番	
ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	電話() —

FUJITEC

〒430-0852 静岡県浜松市中区領家1丁目10番6号

TEL:(053)462-3636

FAX:(053)462-1818